

# 令和8年度自然科学研究科「博士学生のお金事情を大公開」

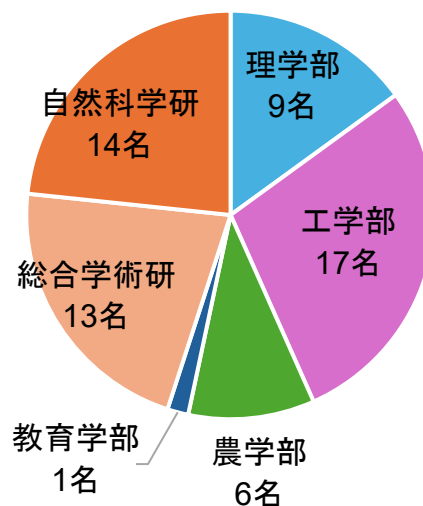
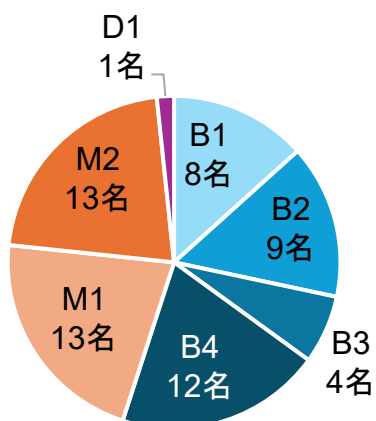
## 参加者アンケート結果

2026.07.17

教育研究高度化センター

参加者数：64名（うち学生60名、学生の男:女=7:3）

### 参加学生の内訳



### 参加者の所属

|    | 理学部 |    |    | 工学部 |    |    |    | 農学部 |    |    | 教育学部 |
|----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|------|
|    | B1  | B2 | B4 | B1  | B2 | B3 | B4 | B1  | B2 | B4 | B2   |
| 人数 | 1   | 6  | 2  | 3   | 1  | 4  | 9  | 4   | 1  | 1  | 1    |

|    | 総合学術研究科 | 自然科学研究科 |    | 教職員 | 合計 |
|----|---------|---------|----|-----|----|
|    | M1      | M2      | D1 |     |    |
| 人数 | 13      | 13      | 1  | 4   | 64 |

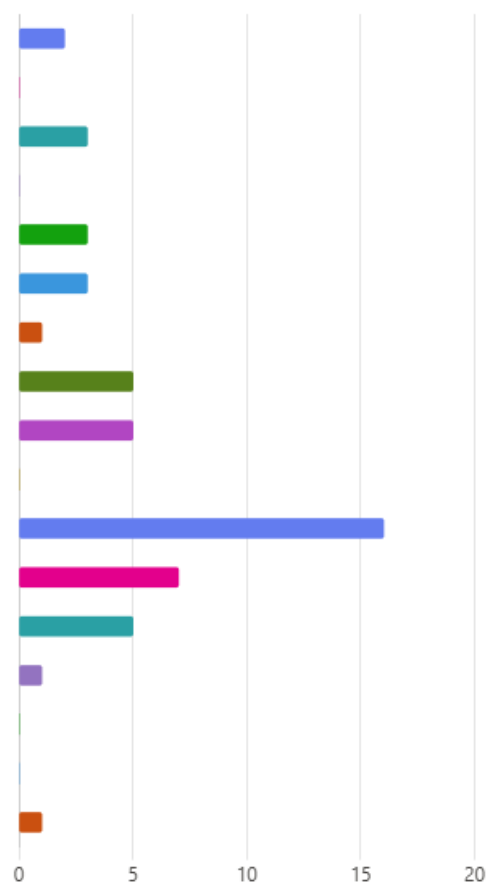
### ※工学部・自然科学研究科・総合学術研究科の所属内訳

| 工学部  | 人数 | 自然科学研究科 | 人数 | 総合学術研究科     | 人数 |
|------|----|---------|----|-------------|----|
| 力学   | 4  | 数理      | 2  | 物質創成・基礎科学   | 3  |
| 情報電子 | 11 | 材料      | 1  | システム創成科学    | 1  |
| 融合領域 | 2  | 電気情報    | 6  | 生命環境・食料科学   | 4  |
|      |    | 生命      | 2  | 社会情報デザイン・カー | 5  |
|      |    | 環境      | 3  | ボンニュートラル・フィ |    |
|      |    |         |    | ールド科学・ひと脳   |    |
|      |    |         |    | (4専攻合算)     |    |
| 合計   | 17 | 合計      | 14 | 合計          | 13 |

## 参加者アンケート集計結果（回答者数 52 名、回収率 87%）

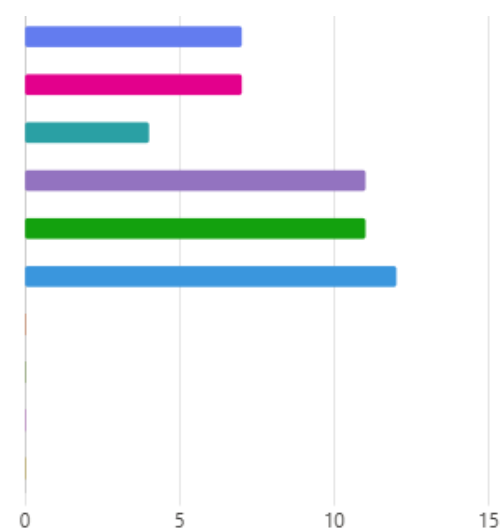
### ① 所属を選択してください。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ● 数理物質科学専攻            | 2  |
| ● 材料生産システム専攻          | 0  |
| ● 電気情報工学専攻            | 3  |
| ● 生命食料科学専攻            | 0  |
| ● 環境科学専攻              | 3  |
| ● 物質創生・基礎科学プログラム      | 3  |
| ● システム創成科学プログラム       | 1  |
| ● 生命環境・食料科学プログラム      | 5  |
| ● 情報社会デザイン科学プログラム     | 5  |
| ● カーボンニュートラル融合科学プログラム | 0  |
| ● 工学部                 | 16 |
| ● 理学部                 | 7  |
| ● 農学部                 | 5  |
| ● 教育学部                | 1  |
| ● 創生学部                | 0  |
| ● 教職員                 | 0  |
| ● その他                 | 1  |

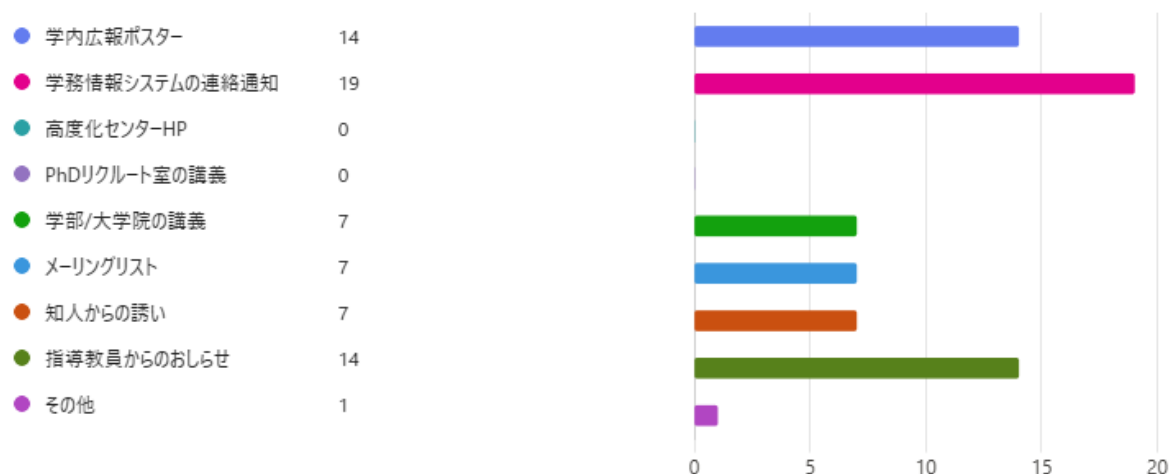


### ② 学年を選択してください。

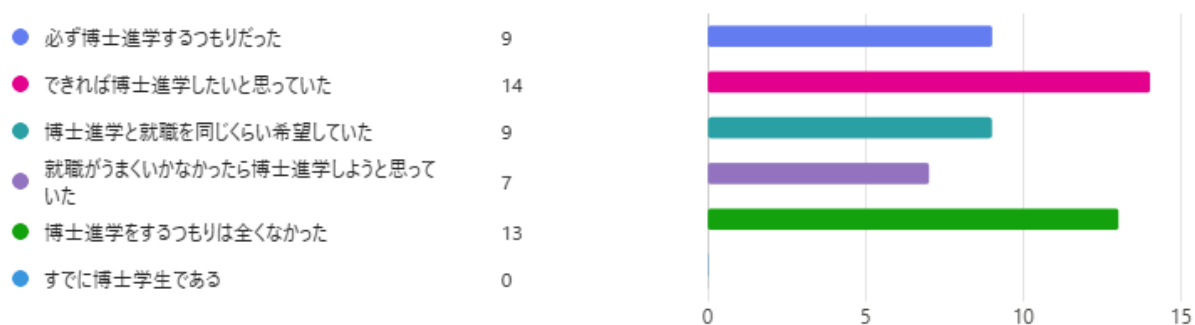
|        |    |
|--------|----|
| ● 学部1年 | 7  |
| ● 学部2年 | 7  |
| ● 学部3年 | 4  |
| ● 学部4年 | 11 |
| ● 修士1年 | 11 |
| ● 修士2年 | 12 |
| ● 博士1年 | 0  |
| ● 博士2年 | 0  |
| ● 博士3年 | 0  |
| ● その他  | 0  |



③ 本イベントを知ったきっかけを全て選択してください。



④ 本イベントに参加する前、博士進学についてどのように考えていましたか。最も近いものを選択してください。



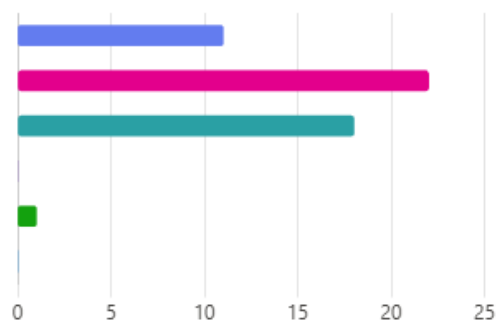
※ ②④の紐づけ

|                                | B1 | B2 | B3 | B4 | M1 | M2 |
|--------------------------------|----|----|----|----|----|----|
| 必ず博士進学するつもりだった                 | 0  | 2  | 0  | 1  | 1  | 5  |
| できれば博士進学したいと思っていた              | 4  | 3  | 1  | 2  | 3  | 1  |
| 就職がうまくいかなかったら<br>博士進学しようと思っていた | 0  | 1  | 3  | 0  | 2  | 1  |
| 博士進学と就職を同じくらい希望していた            | 3  | 0  | 0  | 3  | 3  | 0  |
| 博士進学をするつもりは全くなかった              | 0  | 1  | 0  | 5  | 2  | 5  |

- ・6月時点では B4,M2 以外は「博士進学をするつもりは全くなかった」と答える学生は少ない
- ・B1~3、M1 を比べると、博士進学への進学意欲は大差ない（学部生だからといって、「博士進学をするつもりは全くなかった」と答える学生が多いわけではない）

⑤ 本イベントを終えて、博士進学についてどのように考えていますか。最も近いものを選択してください。

|                     |    |
|---------------------|----|
| ● 博士進学したい気持ちが強まった   | 11 |
| ● 博士進学したい気持ちが少し強まった | 22 |
| ● あまり変わらない          | 18 |
| ● 博士進学したい気持ちがやや弱まった | 0  |
| ● 博士進学したい気持ちが弱まった   | 1  |
| ● すでに博士学生である        | 0  |



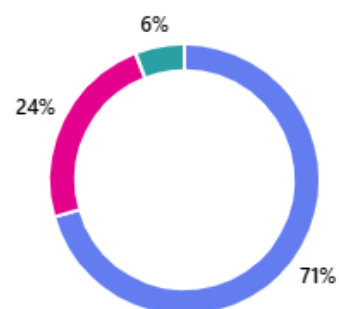
※ ④⑤の紐づけ

|                            | 博士進学したい気持ちが |        |          |      |
|----------------------------|-------------|--------|----------|------|
|                            | 強まった        | 少し強まった | あまり変わらない | 弱まった |
| 必ず博士進学するつもりだった             | 5           | 1      | 3        | 0    |
| できれば博士進学したいと思っていた          | 5           | 7      | 2        | 0    |
| 就職がうまくいかなかったら博士進学しようと思っていた | 0           | 4      | 3        | 0    |
| 博士進学と就職を同じくらい希望していた        | 1           | 7      | 1        | 0    |
| 博士進学をするつもりは全くなかった          | 0           | 3      | 9        | 1    |

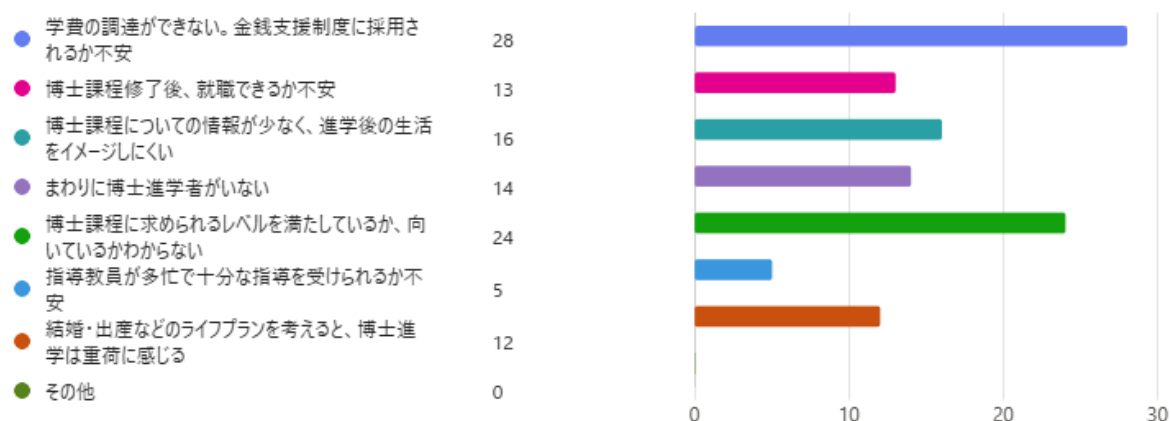
・もともと博士進学への意欲が強い層ほど、イベントを経て進学意欲が高まった

⑥ 本イベントの満足度を教えてください。

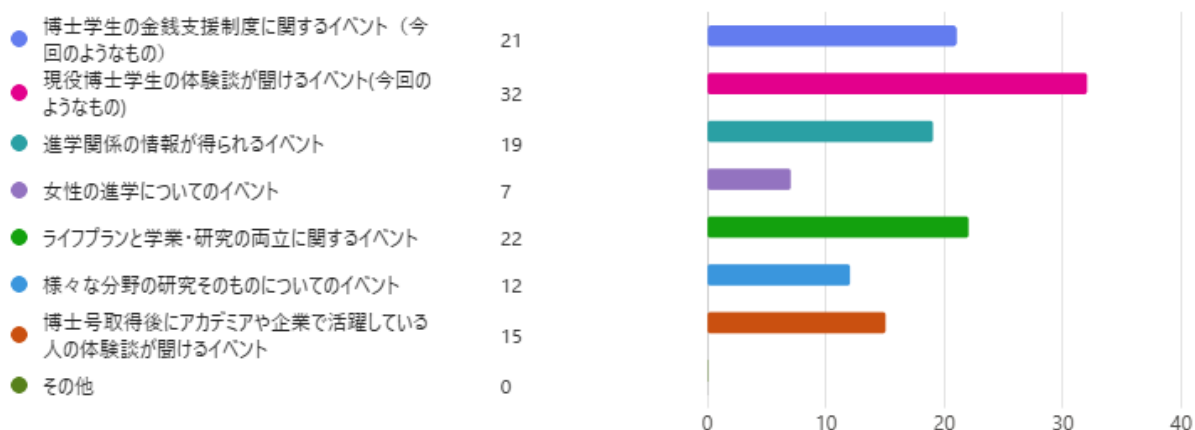
|        |    |
|--------|----|
| ● 満足   | 36 |
| ● やや満足 | 12 |
| ● 普通   | 3  |
| ● やや不満 | 0  |
| ● 不満   | 0  |



⑦ 博士進学において不安なことは何ですか。当てはまるものを全て選択してください。



⑧ 今後どのようなイベントに参加してみたいですか。当てはまるものを全て選択してください。



⑨ 本イベントの感想や、教育研究高度化センターへの要望があればぜひ記入してください。

- ・ 実際に博士後期課程に進んだ方からのリアルな声を聞くことができて良かった。
- ・ 博士の方々の細かい話を聴けてよかったです。
- ・ 自分が知るより多くの支援制度を知ることができました。
- ・ JST 等以外の、財団等の支援だけで賄っている学生の話もあれば聞いてみたかったです。  
(特任助手の回答>民間財団に採用されている学生は母数が少なく、情報も得にくいのでなかなか見つけられず、ご紹介できず申し訳ございません。
- ・ 自分の知識不足かもしれませんが、できれば給与と雑所得の違いを教えていただきたかったです。

(特任助手の回答>フォローすべきでした、申し訳ございません。給与をもらえる制度である日本学術振興会特別研究員 DC1, DC2 は、研究員として雇用される形態ですので、職歴になります。私たち教育研究高度化センターも特任助手(教員)として給与をいただいております、職歴になります。また、大学の特任助教や特任助手の場合は雇用保険に加入することができます、大学によって源泉徴収・年末調整していただいております。

JST 次世代は職歴ではなく、生活費が雑所得として支給されます。また、自分で国民健康保険に加入手続きする必要がある、自分で確定申告して所得税・住民税をおさめる必要があります。

- ・ 特任助手の方が3人もいたのに、座談会3回中1回もグループに来なかったのが残念でした。

(特任助手の回答>配慮すべきでした、申し訳ございません。閉会後に直接質問に来てくれた学生も多く、柔軟に対応いただきありがとうございました。